

### 第3回図書館協議会（29.2.13）

#### 平成28年年度12月議会報告

\*一般質問（平成28年12月7日から14日まで）

神奈川ネットワーク運動・鎌倉 保坂令子議員

・公文書管理条例に関連して、歴史的公文書選別の進捗状況と選別後の保管の状況についての質問があり、平成26年4月1日から歴史的公文書の選別の試行を行っていること、各年度の選別後の文書量、今後、旧永年保存文書の500箱の選別を予定していることについて回答した。

無所属 千一議員

・図書館運営と人件費に関連して、地域図書館の市民サービスを正規職員から嘱託職員に代えることはやめていただきたいとの質問があり、限られた予算、人材の中で、多様な人材を活用していくとともに、開館時間の延長などの図書館サービスの向上にも努めていくという答申内容を尊重し、今後、試行を行うなど柔軟に対応していくと回答した。千議員からは、図書館の指定管理に関する再質問があり、現時点では、図書館を指定管理にすることは考えていないと回答した。

無所属 竹田ゆかり議員

・図書館の運営体制に関連して、図書館協議会の機関としての役割はなにか、地域図書館を非常勤嘱託員を中心とした運営体制にすることについて図書館協議会に諮問することに教育部としてなぜ決めたのか、図書館運営について図書館協議会で十分な議論を行うという当初の目的は達成したのか、社会教育に関する委員の意見は答申に反映できたのかとの質問があった。図書館協議会の機関としての役割については、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関であると回答した。非常勤嘱託員を中心とした運営体制について諮問したことに関しては、図書館業務の効率化とサービスの向上の観点から今後の運営について議論していくことは鎌倉市の図書館にとって重要であると判断し、図書館長から諮問したものであると回答した。図書館協議会において十分な議論を行うという当初の目的は達成したのかについては、平成27年度は4回、平成28年度は1回の協議会を開催し、平成28年9月5日に答申があったが、再度、平成28年11月9日に協議会を開催し、社会教育に関する委員から答申に関しての意見を聞く場を設けた点などから十分な協議をしていただいたと認識していると回答した。社会教育に関する委員の意見は答申に反映できたのかに関しては、議事録として残すという形で反映されたと回答した。

\*教育こどもみらい常任委員会（平成 28 年 12 月 15 日）

図書館協議会からの答申と鎌倉市図書館が目指すべき将来像の確立についての陳情  
に関して審議された。

鎌倉夢プロジェクトの会 高橋浩司議員

・図書館協議会において付帯意見、答申に関して全員の賛成を得られたのかとの質  
問があり、全員の了承を得られたと回答した。

無所属 竹田ゆかり議員

・答申に関して、館長はどう考えているのか、非常勤嘱託員を中心とした体制にす  
るときに正規職員は1名ではなく2名になる可能性は残っているのか、平成 29 年  
度からの試行の期間はどのくらいかとの質問があり、答申に関しては、これからの  
図書館の方向性は出していただいたので、答申の内容を踏まえてこれからの図書館  
を考えていく必要があると回答した。正規職員が2名になる可能性に関しては、試  
行の結果も含めて判断していくと回答した。試行の期間に関しては、作業部会にお  
いて検討していきたいと回答した。

答申の報告については、多数了承となり、陳情に関しては総員挙手により採択となっ  
た。